

〈資料〉

2018年度鳥取大学教員免許状更新講習実施状況

田中浩

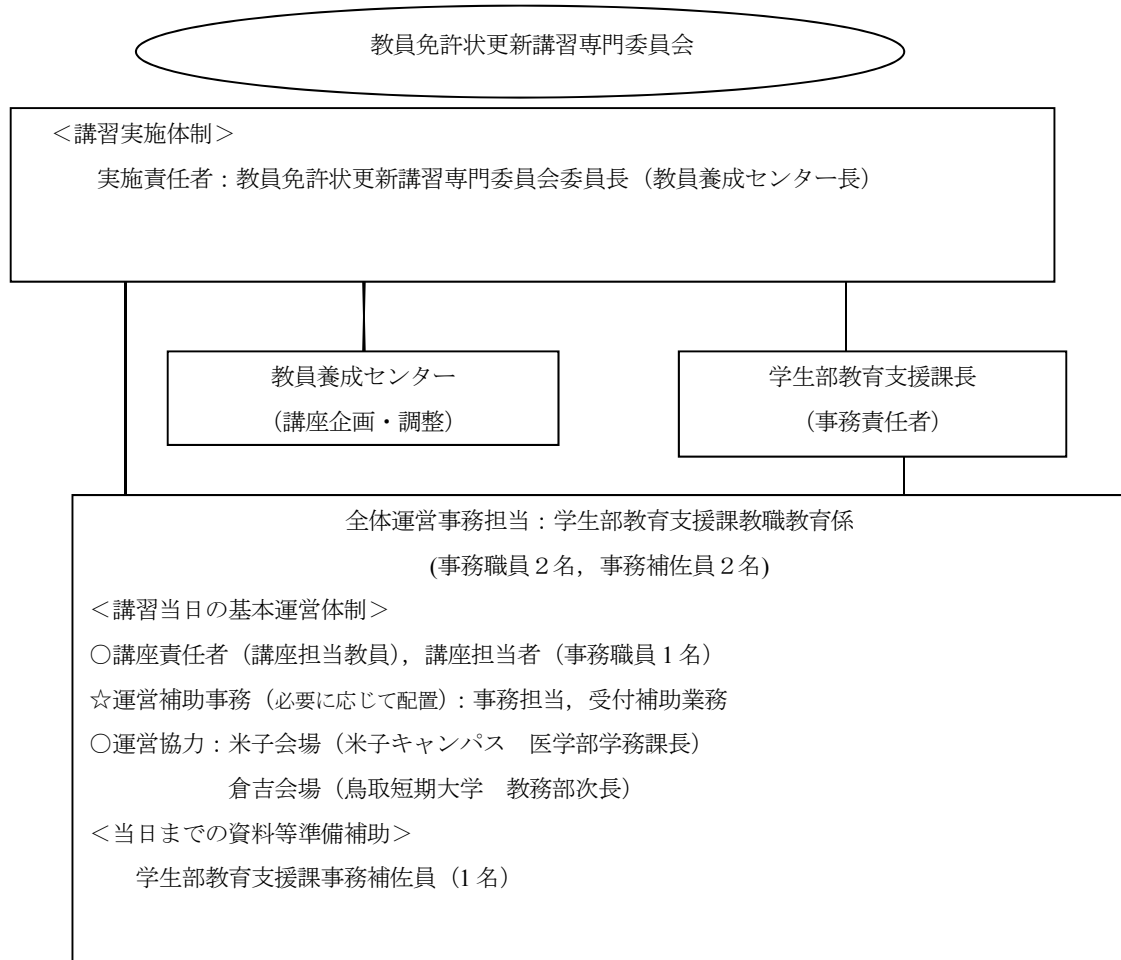
はじめに

2013年2月の大学教育支援機構の組織改組により、教育センター・教職教育部門及び附属学校連携部門を母体に、教員養成部門と附属学校連携部門の2部門を擁する教員養成センターが設置された。教員養成部門では、旧教育センター・教職教育部門から引き続き、教員免許状更新講習の講座企画およびコーディネイトを担当している。担当は、組織改組前（2009年度までは生涯教育総合センター・教職教育部門）の2008年度から10年目となった。

本稿では、2018年度の更新講習の運営体制と受講状況等を取りまとめておく。

1. 運営・実施体制

本学では講習開設にあたり、予備講習実施（2008年度）から全学レベルの教員免許更新講習専門委員会を設置し、運営事務は学生部教育支援課教職教育係が担当している。実施体制としては、本学の教員養成に関する機能強化を目的として設置された教員養成センターにおいて、センター長を中心として講座の企画・調整を行っている。



2. 受講状況

今年度は、鳥取市（鳥取キャンパス）、米子市（米子キャンパス）、倉吉市（鳥取短期大学）、船上山少年自然の家（県内4会場）で、必修6講習、選択必修15講習、選択76講習を開設した。全体の受講状況は表1のとおりであった。本学の特色として、地方国立大学であるが、昨年度と同じく、隣接の兵庫県北部や島根県、岡山県など県外からの受講者が613人と、受講者数全体の16.1%を占めている点あげられる。

なお、必修・選択必修・選択講習別の受講状況は表2、表3及び表4のとおりである。

表1 更新講習受講者全体状況（単位：人）

必修・選択必修・選択合計 (延人数)	受講定員	受講者数	左の内訳	
			県内	県外
	4,607	3,819	3,206	613

表2 受講状況（必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	教育の最新事情①	大谷直史	130	129	124	5
米子市	教育の最新事情②	大谷直史	130	123	100	23
鳥取市	教育の最新事情③	大谷直史	180	177	148	29
鳥取市	教育の最新事情④	大谷直史	180	173	148	25
倉吉市	教育の最新事情⑤	大谷直史	130	123	119	4
倉吉市	教育の最新事情⑥	大谷直史	130	116	63	53
		合計	880	841	702	139

表3 受講状況（選択必修講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	オープンデータ概論－地域と連携したICT教育の実現に向けて－	東野正幸	50	42	36	6
鳥取市	異文化コミュニケーション	笹津成一	40	38	34	4
鳥取市	教育相談①	小林勝年	60	59	52	7
米子市	学校を巡る近年の状況の変化（米子）	大谷直史	120	113	97	16

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
米子市	情報セキュリティ入門	本村真一	50	47	31	16
米子市	国際理解及び異文化理解教育	兒島 明	60	34	26	8
鳥取市	子どもたちの多様性に対応する指導・支援のあり方ーワーキングメモリとセクシャルマイノリティの視点からー	石本雄真	60	58	43	15
米子市	国家・国民の道徳／民衆の道徳	一盛 真	50	32	28	4
米子市	児童生徒の心身の発達とその支援	井上雅彦	70	70	67	3
米子市	教育相談②	井上菜穂	60	60	53	7
鳥取市	学校を巡る近年の状況の変化（鳥取）	大谷直史	120	118	95	23
鳥取市	国際理解教育の実践と、外国にルーツを持つ子どもへの支援	御館久里恵	30	26	22	4
倉吉市	特別支援教育と生涯発達支援～乳幼児期と青年期に注目して～	國本真吾	50	48	47	1
米子市	新しい英語教育の理論と実践	足立和美	30	13	9	4
倉吉市	体験学習のススメ～挑戦、協力、コミュニケーション力を育む～	近藤 剛	32	29	28	1
		合計	882	787	668	119

4 受講状況（選択講習）（単位：人）

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習（中学校）】英語	足立和美	15	12	8	4
	【授業実践演習（中学校）】音楽	鈴木慎一朗	15	8	7	1
	【授業実践演習（中学校）】国語	小笠原 拓	15	4	4	0
	【授業実践演習（中学校）】社会	高橋健司	15	5	2	3
	【授業実践演習（中学校）】理科	高橋ちぐさ	15	5	3	2
	【授業実践演習（中学校）】数学	矢部敏昭	15	14	11	3
	【授業実践演習（中学校）】美術	武田信吾	15	5	5	0
	【授業実践演習（中学校）】技術	土井康作	15	3	2	1
	【授業実践演習（中学校）】 保健体育	関 耕二	15	10	4	6
	【授業実践演習（中学校）】 ※開催キャンセル 健康教育	谷中久和	15			
鳥取市	【幼児教育実践演習】 ※開催キャンセル	塩野谷斉	20			
鳥取市	バイオテクノロジーの最前線 ※開催キャンセル	大城 隆	40			
鳥取市	「宇宙教育」への招待 ※開催キャンセル	三浦政司	20			
鳥取市	マーケティング入門：＜顧客＞の声を聴く	白石秀壽	20	7	6	1
鳥取市	アメリカ文化と社会 ※開催キャンセル	中 朋美	40			
倉吉市	世代のこころをつなぐ生涯発達心理学と世代間交流	南 潮	40	40	40	0
鳥取市	新しいものづくり・技術教育の理論と実践	土井康作	20	20	16	4
鳥取市	文化政策入門～創造性を生かした文化的社会への展望	野田邦弘	50	36	33	3
鳥取市	きのこ学入門－「きのこ」という生き物をやさしく理解する－	早乙女梢	35	35	30	5
米子市	新しい算数教育の理論と実践	矢部敏昭	30	30	26	4
米子市	地域と学校における健康と体力－楽しく走る・歩く－（米子）	関 耕二	40	40	40	0

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	地域の美術史	筒井宏樹	30	7	4	3
鳥取市	地域の歴史を発掘するー近世・近代における地域の「偉人」たちー	岸本 覚	40	38	37	1
鳥取市	言葉とコンピューター	村田真樹	20	20	16	4
米子市	小児保健と看護	南前恵子	70	66	63	3
鳥取市	子どもたちの指導・支援に活かす認知行動療法ー気持ちと上手に付き合うためにー	石本雄真	48	47	38	9
米子市	基礎から分かる昆虫学 (米子)	中 秀司	80	80	75	5
鳥取市	新しい中学校理科の理論と実践	高橋ちぐさ	30	8	5	3
鳥取市	18歳選挙権と主権者教育ー有権者としての意識・行動の観点からー	塩沢健一	30	27	22	5
鳥取市	人種主義とは何か?	一盛 真	50	47	38	9
鳥取市	生物多様性を中心に郷土の自然を考えるー博物館を活用してー	永松 大	20	19	16	3
鳥取市	地域経済の現状と今後の展望	多田憲一郎	50	15	10	5
鳥取市	新しい国語科の教材づくり (小学校編)	小笠原拓	40	38	30	8
米子市	新しい算数の学習様式	矢部敏昭	30	29	22	7
鳥取市	基礎から分かる昆虫学 (鳥取)	中 秀司	100	98	82	16
鳥取市	楽しい造形表現の実践ー教材づくりと活動内容の設定ー	武田信吾	30	30	24	6
鳥取市	新しい音楽教育の理論と実践	鈴木慎一朗	30	29	24	5
米子市	新しい国語科の授業づくり (中学校・高校編)	小笠原拓	40	24	19	5
鳥取市	日本語と近代	榎木久薫	40	18	16	2

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	地域経済学・地域計画学基礎	福山 敬	20	11	7	4
東伯郡 琴浦町	自然体験の理論と実践	大谷直史	20	20	19	1
鳥取市	地域福祉の推進と学校の役割～超高齢社会における「福祉」との向き合い方を考える～	竹川俊夫	50	50	45	5
鳥取市	森林と人間（鳥取）	佐野淳之	20	20	17	3
鳥取市	食品の機能性と健康	渡邊文雄	30	29	24	5
鳥取市	私たちの身の周りの放射線	山野好章	30	29	18	11
鳥取市	英語ライティング指導の理論と実践	滝波稚子	30	27	22	5
米子市	生命活動を担う細胞の不思議とその研究アプローチ	初沢清隆	40	18	13	5
鳥取市	ご地層を観る	菅森義晃	8	8	6	2
米子市	教員が知っておきたい生徒の健康：とっさの時の対応と心肺蘇生法の新しい教育法の紹介	本間正人	50	50	48	2
鳥取市	地域と学校における健康と体力ー楽しく走る・歩くー（鳥取）	関 耕二	40	40	34	6
鳥取市	物理現象と数値計算に基づく微分方程式入門	大信田丈志	40	14	10	4
米子市	日南町で地質調査を体験する	菅森義晃	8	7	6	1
鳥取市	手紙を書くー鑑賞と実際ー	住川英明	30	30	28	2
米子市	日南町でご地層を観る	菅森義晃	8	7	6	1
鳥取市	子どもと創るダンス・動き遊び	佐分利育代	30	29	26	3
倉吉市	絵本を教育・保育の場に活かす	齊木恭子	40	38	36	2
倉吉市	子どもの成長発達と音楽表現	羽根田真弓	40	39	38	1

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	フランス革命期の非キリスト教化運動から見えてくるもの	柳原邦光	60	9	8	1
鳥取市	オープンソース・ソフトウェア(OSS)を利用した情報リテラシー教育	石田 雅	50	24	10	14
鳥取市	ピア・ラーニング(協働学習)による授業デザイン—理論と実践の方法—	池田玲子	50	44	35	9
鳥取市	からだきづき・からだほぐし	佐分利育代	40	37	34	3
鳥取市	地域学入門	柳原邦光	60	29	22	7
米子市	森林と人間(米子)	佐野淳之	20	19	17	2
鳥取市	数字のウソ—統計数字で騙したり騙されたりしないために	小野達也	30	7	7	0
鳥取市	ネットワークと教育	大森幹之	60	57	36	21
鳥取市	鳥取砂丘と周辺の山陰海岸ジオパークエリアの動物に学ぶ群集生態学と進化	鶴崎展巨	20	19	16	3
鳥取市	セキュリティ対策ことはじめ	木本雅也	40	33	23	10
米子市	思春期・青年期に向き合うために—思春期・青年期の特徴と生じやすいさまざまな問題の理解—	石本雄真	46	44	41	3
鳥取市	ドローンで探る鳥取砂丘オアシスの謎	齊藤忠臣	20	19	16	3
鳥取市	鳥取砂丘の教育活用をめざして—地理・地学編—	小玉芳敬	24	23	22	1
鳥取市	小学生からのプログラミング—Scratchを用いた実習授業—	井上 仁	15	13	13	0
鳥取市	きのこを作ろう	霜村典宏	40	41	35	6
鳥取市	【授業実践演習(小学校)】音楽	鈴木慎一朗	15	12	7	5
	【授業実践演習(小学校)】外国語	足立和美	15	13	11	2

会場	講習の名称	講習責任者	定員	受講者数	左の内訳	
					県内	県外
鳥取市	【授業実践演習（小学校）】国語	小笠原拓	15	13	9	4
	【授業実践演習（小学校）】算数	矢部敏昭	15	14	11	3
	【授業実践演習（小学校）】 図画工作	武田信吾	15	11	6	5
	【授業実践演習（小学校）】生活 ※開催キャンセル	福山寛志	15			
	【授業実践演習（小学校）】社会	高橋健司	15	2	1	1
	【授業実践演習（小学校）】保健体育	関 耕二	15	12	10	2
	【授業実践演習（小学校）】理科	高橋ちぐさ	15	4	4	0
鳥取市	ゲーミングとシミュレーションで学ぶ インセンティブ設計	三浦政司	20	19	16	3
鳥取市	憲法学入門Ⅰ【総論編】	佐藤 匡	20	20	17	3
鳥取市	憲法学入門Ⅱ【各論編】	佐藤 匡	20	20	18	2
鳥取市	民法学入門Ⅰ【財産編】	佐藤 匡	20	19	17	2
鳥取市	民法学入門Ⅱ【家族編】	佐藤 匡	20	20	18	2
倉吉市	造形教育のための実践演習	宮崎百合	30	30	29	1
鳥取市	暮らしのなかの生化学	明石欣也	32	33	28	5
鳥取市	行政法入門	佐藤 匡	20	20	15	5
倉吉市	食育と栄養	野津あきこ	40	38	37	1
鳥取市	表現につながるからだあそび	木野彩子	30	27	14	13
鳥取市	【特別支援教育実践演習】知的障害のある子どもの理解と支援(公開研究会)	三木裕和	20	20	13	7
鳥取市	困難を抱える子の理解と把握—今あらためて学ぶ発達障害—	石本雄真	46	46	39	7
		合計	2,845	2,191	1,836	355

3. 今後の講習運営に向けて

今年度の講習運営を振り返り、講習運営に関して効果のあった点、困難だった点、及び今後の検討課題を簡単にとりまとめておく。

(1) 運営上の効果があった点

- ・必修講習は、例年と同じく東部地区（鳥取市）・西部地区（米子市）・中部地区（倉吉市，鳥取短期大学）で開設し、地理的バランスがとれた。

また、受講見込み者数の関係から、東部地区・西部地区・中部地区ともに2講習開催し、需要に応えることができた。

- ・選択必修講習は、東部地区6講習、西部地区7講習、中部地区2講習を開設し、需要に応えることができた。

- ・選択講習は、76講習開設（うち4講習開催キャンセル、2講習の一部を開催キャンセル）した。受講者数の少ない講習もあったが、おおむね受講生からの評判も良く、需要に応えることができた。

- ・必修講習については、引き続き、ざぶとん、ひざかけ（選択講習については、受講生に持参することを促した）を準備する等、教室の座席等の環境改善に一定の効果があった。

- ・受講者の駐車スペースの確保について、必修講習や受講者の多い選択必修講習、選択講習は土日祝日開催としたが、一部平日開催とした講習については受講者から駐車スペースの不足に対する苦情があった。また、鳥取キャンパスでの講習（平日開催分）については、受講者に対して、大学構内の空きスペースを駐車場に提供したり、できるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知したので大きなトラブルはなかった。

(2) 運営上、困難だった点

- ・豪雨や台風の接近で講習を開催すべきかどうか判断が難しい点があった。

- ・講習を開催キャンセルした場合の受講者への連絡が難しかった。

- ・教室外で行う講習の期日設定（季節や天候との兼ね合い）が難しかった。

- ・開催キャンセルした場合の他の講習への受講の振替や返金について、講習開催準備や開催実施に係る時間に追われ対応が難しかった。

(3) 今後検討が必要な点

- ・講習中の緊急時対応（特に災害や休日に急病人が出た場合）の速やかな対応が必要である。

- ・受講者の駐車スペースの確保について、必修講習や受講者の多い選択必修講習、選択講習は土日祝日開催とし、鳥取キャンパスでの講習（平日開催分）については、受講者に対して、できるだけ公共交通機関を利用して来学願うことを周知するとともに、受講者専用の駐車スペースを確保する等、対策を講じたい。

- ・米子キャンパス（医学部）での講習の際は、駐車スペース確保の検討や、講習を行う旨の周知を徹底する必要がある。

田中浩（鳥取大学 学生部教育支援課教職教育係）